



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2017年7月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



九州北部、それに続く秋田県での豪雨災害で被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

写真は、事務局でお預かりした東北の“どんぐり”の苗木です。

一生懸命お世話をしたのですが、夏の暑さで枯れてしまいました。

悲しいことですが、人事の及ばない自然の摂理として受け入れなければなりませんね。

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動10周年記念企画「保育ドキュメンテーション」作品募集のご案内
2. 「東北復興グリーンウェイ」東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート
3. 事務局からのお知らせ
 - 新・どんぐり博士の育苗講座 (2017年7月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

NPO法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人自然体験活動推進協議会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



1. JP子どもの森づくり運動10周年記念企画「保育ドキュメンテーション」作品募集のご案内

JP子どもの森づくり運動が活動10周年を迎えるにあたり、記念事業として先月号より「**10周年記念企画**」の募集を開始しました。「10周年記念企画」は、皆様と共にこれまでの活動を振り返り、これからのより良き活動につなげることを目的とします。先月号は、筑波大学とのコラボレーションで、“どんぐり”の木のルーツを訪ねる「ぼくの木、わたしの木を探ろう！」調査活動をご案内しました。今月号では、第二弾として、**幼児（少）期の自然体験、及び環境学習活動をテーマとする「保育ドキュメンテーション」作品募集**のお知らせです。



JP子どもの森づくり運動 10周年記念企画 2

幼児期の自然体験、環境学習活動保育ドキュメンテーション作品募集



JP子どもの森づくり運動では、活動10周年記念企画の一つとして、幼児（少）期の子どもたちの自然体験、環境学習活動をテーマとした「保育ドキュメンテーション作品（*注）」を募集します。

*注：保育ドキュメンテーションとは

写真や動画を積極的に活用した保育における子どもたちの実践の記録。世界的に注目されているイタリアのレッジョ・エミリア市におけるプロジェクト型幼児教育「レッジョ・エミリア・アプローチ」の実践ツールとして紹介され、現在、多くの保育の現場で活用されています。

本企画の目的は、JP子どもの森づくり運動の活動10年目にあたり、保育ドキュメンテーションの作成を通じて、これまでの活動を振り返り、あらためて保育における幼児（少）期の自然と環境の体験の意義について共に考えることを目的とします。その意味で、今回のテーマは、子どもの森づくり運動を含む幼児（少）期の子どもたちの自然体験、環境学習活動全般とさせていただきます。

ご応募いただいた作品は、「10周年記念冊子」に掲載させていただきます。さらに、2017年11月末までにご応募いただいた作品は、12月に開催される「エコプロ2017」のJP子どもの森づくり運動ブースに掲示させていただきます。多数のご応募をお待ち申し上げます。

<作品募集要項>

1. 募集期間	第一次募集締切り：2017年7月～12月25日（月）
2. 募集作品	保育園・幼稚園・こども園内で行われている自然体験活動、及び環境学習活動を題材として、子どもたちの生き生きとした活動や心の変化を記録した写真やイラストと、子どもたちの心の揺らぎに共感する保育者のコメントを入れた保育ドキュメンテーション作品とします。
3. 応募方法	<p>1) レポートサイズはA2サイズまでとします。（縦横、どちらでも可） <u>1活動（エピソード）につき1作品とし、複数活動ご応募いただけます。</u></p> <p>2) 作品は、メールの添付ファイル、あるいは郵送にて事務局までお送り下さい。 * 郵送費は、応募園のご負担となります。 * 郵送による応募作品は返却できません。</p> <p>3) 上記募集期間中は、いつでも受け付けます。 * 応募方法、及び詳細は、別紙（子森通信同封）の募集チラシをご参照下さい。</p>

2. 「東北復興グリーンウェイブ」 東北の“どんぐり”の苗木を見送る活動レポート（詳細ホームページご参照）

●東京都「新宿せいが子ども園」東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

・日時：2017年5月10日（水）・場所：自園 ・日本郵政グループ：落合郵便局 染谷局長

* 園長先生のお話、染谷局長のお話、パネルシアター、苗木の梱包が行われました。

苗木を絆ボックスに優しくいれる小さな手。それを包む大きな手。みんなの力で東北に送り出しました。



●広島県「山本まごころ保育園」東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

・日時：2017年5月12日（金）・場所：自園 ・日本郵政グループ：山本郵便局 堀元局長

・そら組（年長）・つき組（年中）が集まって「東北へどんぐりをおくる会」を行いました。

* オリジナルの人形劇「かしの木さん、クヌギさん」をして、局長さんからは郵便について色々教えてもらい、6本の苗木をボックスに詰めて苗木を受け取ってもらいました。-園レポート抜粋-



3. 事務局からのお知らせ

1) 「♪どんぐりえがお」ビデオダンスコンテスト2017 作品募集

『J P子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」(以下「東北復興グリーンウェイブ」)』のキャンペーンソング「♪どんぐりえがお」のビデオ映像によるダンスコンテストを、昨年につづき今年も開催します。昨年は、全国より12作品の応募がありました。(昨年のコンテストの様子は、「子森チャンネル」で紹介しております。)

「♪どんぐりえがお」の歌は、震災の大きな悲しみを乗り越えて、子どもたちに“どんぐり”と“えがお”の絆でつながり、共に生きていこうと呼びかけています。そして、子どもたちに「共に生きていく(共生)心」を育ててもらふことこそ「東北復興グリーンウェイブ」の活動が目指していることです。事務局では、「♪どんぐりえがお」のネットワークをもっと大きく広げたいと思い、今年もコンテストを開催します。今年もたくさんのご応募お待ちしております。**参加申し込み、及び詳細は、別紙(子森通信同封)のチラシをご参照下さい。**



2) 「子森チャンネル」のご案内

ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」で、様々な活動風景を動画で配信しています。

*視聴方法: 「子森ネット」ホームページ (<http://www.kodomonono-mori.net>)

⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル

左記のQRコードからもご覧いただけます。



●新・どんぐり博士の育苗講座(2017年7月号)～葉が斑点状に枯れていませんか?～
猛暑です!そして豪雨です!残念ながら今年も大きな気象災害が起きてしまいました。九州北部豪雨の被災地の皆様を中心に、さらにその他多くの地域で水害に見舞われ方々に、心よりお見舞い申し上げます。

どんぐり博士:河内和男(子森ネット・森林インストラクター)



さあ困りました。毎日の天気予報で映し出される、天気概況の日本地図はまるでパッチワークのようです。梅雨前線の気まぐれな動きにつれて、猛暑と豪雨の場所も入れ替わっていきます。全国の皆さんに、今月は何をお話しすれば良いのでしょうか。

気を取り直してこの7月を振り返ってみると、全国共通で暑いです。そして一部雨の少ない地域もありますが、梅雨前線が南北に行ったり来たりしたので、雨の量が結構多くなった地域も増えました。つまり、高温で湿度が高く土中の水分量も多めであるという状況です。また、この原稿を書いている時点では、南の海上を台風がうろろしている状態なので、しばらく高温多湿が続く可能性が高いと考えています。

高温多湿下の苗管理で気になるのが、葉が斑点状に枯れてくる(茶色になる)、斑点性の細菌病(うどんこ病、褐斑病など)です。病巣が大きくなると苗の生育が悪くなりますので、できれば予防したいです。そこで湿気を下げるためには風通を良くし、湿気が多い地面から離すことです。さらに、水やりの際には根元に水を与え、葉にはかけないようにしてください。また、猛暑対策で日陰での育苗を推奨しましたが、土の水分がぬけない場合には、時々長めに日に当てることも必要です。

皆産がお住まいの地域の、天気と苗の様子から、苗が何を望んでいるかを感じ取って、苗管理を行ってください。